

教育ボランティアニュースレター

第24号

発行月 令和2年1月

「教育ボランティア座談会」を実施しました！

昨年12月18日に、日頃ご協力いただいている教育ボランティアの皆様にお集まりいただき、座談会をおこないました。今回座談会に参加いただいた皆様は、本学の教育ボランティアに長年登録いただいている方、最近登録いただいた方等、様々な年代・性別の方にお集まりいただきました。

座談会には計12名の方にご協力いただき、3グループに分かれて意見交換をおこないました。意見交換のテーマは、① 教育ボランティア導入授業に関する本学への改善点や要望について、② 地域の活性化を考える際に本学にどのような役割を期待するかについて、です。本学からは9名の教員が参加しました。

本学への改善点や要望には、「学生の個人のレポートだけではなくその学びを学生全体や教員がどのように解釈したのかも教えてほしい」「病気などの経験をリアルに聴ける場を広げてほしい」「自分たちは活動に理解があるが、難しい患者の対応についても学んだらよいのではないか」「教育ボランティアに中学生等が入ってもよいのではないか」「もっと地域に学生が出てきて一緒に継続的に活動できるとよい」といった意見がありました。また、本学に期待する役割には、「教員の専門性を知らせてほしい」「大学で行っている活動を地域で行って一緒に地域活動を盛り上げてほしい」といった意見がありました。

その他にも「看護師になるために学生が真摯に授業に取り組んでいることを知ることができてよかった」「役に立っていることが分かると協力していることの励みになる」との意見もいただきました。また、「コミュニケーションなどの演習がどの程度役に立っているのか、学生の反応を知りたい」と教育ボランティアの皆様に関わっていただく講義・演習が低学年に多いことから、3～4年生の成長を知りたいと言っていました。座談会を通して、今の教育ボランティア導入授業を継続して充実していくこと、学生の学びを教育ボランティア様ともっと共有することを改めて確認するとともに、学生とボランティアの皆様と自由に話せる座談会があるとよいのかもしれない等、現在の授業を活かし、発展させるアイデアをいただきました。

これからも学生との意見交換会やこのような機会を設け、皆様とともに発展していけるように取り組んでいきたいと思っております。また、皆様からの忌憚のないご意見をお待ちしております！

